

啓北商業高等学校学校評議員会便り

令和元年
9月13日
発行

○令和元年度市立札幌啓北商業高等学校 学校評議員のご紹介 (五十音順)

札幌啓北商業高校同窓会会長	池田 一夫 様
札幌啓北商業高校PTA会長	狩野 純子 様
株式会社スポーツショップ古内取締役	古内 一枝 様
北星学園大学経済学部教授	古谷 次郎 様
南区石山まちづくりセンター所長	吉山 直子 様
札幌啓北商業高校 鈴木校長、堀野教頭、羽山事務長	以上8名



去る7月13日(土)13時30分より本校校長室にて「第1回学校評議員会」が開催されました。和やかな雰囲気の中、学校評議員の皆様よりそれぞれのお立場でのご意見・ご助言をいただきました。当日の協議内容は以下のとおりです。

○評議員会の協議内容

冒頭、鈴木校長より学校評議員の委嘱と評議員会開催の挨拶、本校の概要と教育課程編成の方針を説明しました。また、堀野教頭から4月からの生徒の現状とSPH事業について説明しました。

各評議員の皆様からいただいたご意見、ご感想等 ~要旨抜粋~

<池田評議員>

*来年度SPH事業がなくなるときのどの程度の予算が必要か。

事務長：年間360万程度

*とても良い取り組みをしているので今後も続けてほしい。

学校長：地域で同様の活動を行っていきたい。1,000万の予算に対する文科省の考えは、これを使って啓北商業として持続可能な教育プログラムを開発しなさい、一度教育プログラムを開発してしまえば、これからは謝礼の不要な方を依頼する等プログラムに乗っ取って活動していけるというもの。今まで予算化されていた1,000万を使わなければ活動できないというわけではない。

事務長：年間予算360万円のうち3分の2(240万円程)は国内海外研修の旅行費用。研修旅行以外は継続できる。

学校長：SPHでお金に変えられない得難い経験をしている。取り組みごとに膨大なテキストを使用し、事前・事後学習を行って自分で評価を繰り返している。

<古内評議員>

*以前、吉山さんと一緒に沼田部長(北海道銀行地域振興公務部長)の話聞きに来た。話を理解しているか、生徒の周囲を巡回しながら話している姿がすばらしかった。

*保護者会にも案内をしてほしい。

自分の子供が素晴らしい授業を受けていることがわかって面白いと思う。

学校長：これからは石山商店街や真駒内駅前開発を考える会など地域の働きやつながりを考えなければならぬ。

<吉山評議員>

- *学生と交流する機会がない。
- *沼田部長の話を職員に紹介した。
- *企業も「自分で考える力」を求めている。面接の秘訣を聞いたのはすばらしかった。
- *まちづくりセンターの新人職員の例
初対面の人にもものを頼む順序や文章は勉強していない。人にもものを頼むのに「いついつまでに提出せよ」はない。社会に出た時すぐに必要なスキル。
- *例年夏まつりの件で吹奏楽部の生徒さんに協力を依頼しているが、手伝ってくれることがうれしい。

<古谷評議員>

- *SPH について
体験型の学習を行っていると感じた。専門分野の方に協力していただいている。さらに加えて、教科書を使って勉強をしっかりとしないと社会に通用しない。この三年間で経験したことを活かしてほしい。すぐに点数に結びつかないが将来に役立つはず。
- *大学のポートフォリオについて・入試における英語の外部試験導入について
北星でもどうするか、タイムリミットは迫っている。今の2年生から導入すると大学では決めたが、どのように利用するのかはこれから。
- *北大を除く国公立や私立大学では英語について大きな改革が迫っている。高校では志望校に合わせて進路指導が必要になるが、文科省の通知に合わせ、4技能に合わせた対応をしなければならない。
- *AO 入試では「高校でなにをしてきたのか」が問われる。啓北の卒業生については道内トップレベルのポートフォリオが作成できるのではないかと。
- *数値による評価とは別に、「何をどう学んだのか」学習の履歴を一人一人残せるのではないかと。
- *最近、教職を志望する学生が減る傾向にある。免許だけとる生徒も減ってきている。
- *民間から求人は来るけど、すでにこの時期就職活動は終わっている。
- *教員の世界はブラックではないか。学生が将来の志望を考えると先生は大変だという情報が広まっている。(先生方の仕事として教科指導、部活指導が大変ではないか) 札幌市の教員としての勤務条件はわからないが、校長先生には労務管理をして先生方自身が余裕をもてるような指導をお願いしたい。
- *今後は、先生方が SPH のまとめとしてよい成果を残せるように、分担をして生徒を指導してほしい。
学校長：SPH は生徒のために行っているが、先生方の働き方についてもよい取り組みであった。今年度は完成年度として、12月19日にカナモトホールでの成果発表会がある。ご案内するのでは是非参加していただきたい。生徒たち自身が自主的に取り組んで活動報告を行った昨年の報告会では「やらせでは無いか」との批判をした報道関係者がいた。決してそんなことはない。

<狩野評議員>

- *SPH の取り組みで子供は本当に作文が書けるようになった。最初は親と一緒に書いていたものが、1年2年たったらメモを取るのも上手になった。面談も上手になり、AO 入試に取り組んでいるがよい評価を得られている。親として感謝している。

最後に学校長から、本評議員会にご出席いただき貴重な意見等をいただきましたことに際し、感謝を申し上げて本評議員会の閉会といたしました。

以上が令和元年度第1回学校評議員会の報告になります。